

# 福生三中だより

令和5年5月31日発行 No.3

## 学校教育目標

- 1 よく聞き、よく見、自分の考えをもつ生徒
- 2 ものごとをやり抜く強い意志をもつ生徒
- 3 責任を果たし、みんなのために働く生徒
- 4 美しいものを求め、豊かな心をもつ生徒

校訓 礼 節

## 創立50周年記念 体育祭

### 「百戦錬磨 ～新時代のヒーローは君だ～」

校長 植村 多岐

いよいよ今年の梅雨も間近に迫り、晴れ晴れとした青空が貴重な季節となってきました。先日の体育祭の実施に際しましては、多数のご来賓、保護者、地域の方々にご観覧いただき誠にありがとうございました。今週の学校は一つの大きな行事を終え、ほっと一息つくような・・・ どこか寂しいような落ち着いた空気が漂っています。

体育祭当日は、開会式のあいさつの中で、私は二つのこととお話しました。一つは、今回は創立50周年の節目の体育祭であり、三中伝統の「何事も全力で取り組む姿勢」と「豊かな団結力」をしっかりと継承すること。そしてもう一つは、体育祭を「笑顔」で楽しんでほしいということでした。三中は「体育祭」といいますから、文字通り「体」を育てる「お祭り」です。お祭りですからお祭りに臨むように、自ら気持ちを大いに盛り上げ、大いに楽しむことを願いました。

そして演技は、保健体育科種目のリズム体操から始まり、どの生徒もスローガン「**百戦錬磨 ～新時代のヒーローは君だ～**」の下に、一つ一つの競技に全力で打ち込むことを楽しみ、中学生らしいたくましくも、清々しい姿を披露してくれました。

特に、1年生の「いかだ流し」、2年生の「大縄跳び」、3年生の「ムカデ競争」には熱が入り、積み上げた練習の成果を全て出し切りたいという思いがひしひしと伝わってきました。その中でも3年生の砂ぼこりにまみれながら頑張る姿に、その声や迫力に感動しました。よき姿を下級生に残してくれたと思います。また、全体の運営面では準備の段階から体育祭実行委員の努力とリーダーシップが大きく、原動力になったと思います。加えて招集・誘導、出発・合図、審判、計時、監察、用具、放送、救護、記録等、係の人たちが準備・当日・片付けと体育祭を陰で支え運営しました。こうした人たちの努力によって三中の体育祭が成功したことは間違いないと思います。お疲れ様でした。

創立50周年記念体育祭。この50年の歴史ある体育祭を三中生が助け合い、支え合い、そして声をからして仲間を応援しました。応援席では頑張った人を拍手や笑顔で迎える。そんな姿にも目がとまりました。「競う」中にも認め合い、仲間と協力し団結できた体育祭でした。ここまで自分たちが成功に向けて、積み上げることができたことに自信をもって、新たな目標に向け歩んでほしいと思います。我々教職員一同、この成果を次の50年への第一歩に繋げていきたいと考えます。ご声援ありがとうございました。



## 教育実習開始 5月15日(月)

5月15日(月)の朝礼で校長先生より今年の実習生、ベネット利枝子先生の紹介があり、ベネット先生から全校生徒に挨拶がありました。教科は英語、クラスは3年1組です。3週間という短い期間ですが、授業、行事、放課後の活動等、先生になるために三中生と共に過ごして様々なことを勉強します。



## 「花植え」家庭科部とCS委員5月18日(木)

毎年参加しているふっさ花とみどりの会「花いっぱい運動」の花植えを家庭科部とCS委員と協力して花壇に花を植えました。今年のデザインは、創立50周年を記念して、「☆50th☆」になりました。水やりの当番を決め、大切に育てます。



## 生徒会総会 5月20日(土)

学校公開日の1校時、久しぶりに体育館で全校そろっての生徒総会を行いました。生徒会役員を中心に代表委員・各委員長がより良い三中を作っていくための活動方針を提案し、無事承認されました。質問者からは肯定的な意見も出され、三中生全員で学校をより良くしようという雰囲気がありました。



## 創立50周年記念 体育祭 5月27日(土)

